

1. ブラジル SET EXPO 2023 (8月8日、サンパウロ)

(1) 参加: 伯国内外の約400社が出展し、14,000人以上が参加(主催者推定速報)。

(2) 開会式の模様

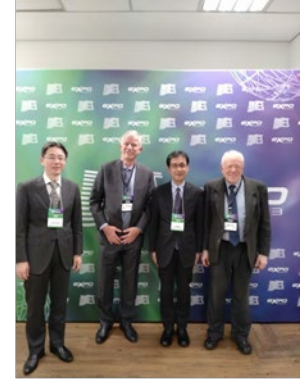
フィニSET会長、フィーリョ・ブラジル通信省大臣等が挨拶。フィーリョ通信大臣の挨拶では、現在、ブラジルの次世代デジタルテレビ(TV3.0)の技術規格を決めるため、関係省庁及び関係団体からなるWGを設け、2024年末までに方式を決める予定である旨の言及があった。

(3) 日本パビリオンの出展

日本の地デジ高度化技術等をPRするため、「日本パビリオン」を出展し、5社(ARIB/DiBEG、NEC、NHK、JTEC、日立国際電気)が参加。フィーリョ通信大臣やウェリッシュ電子ソーシャル・コミュニケーション局長(放送担当)等を日本パビリオンへ招き、日本の地デジ高度化技術等を説明。また、「鏡開き」の催しを日本パビリオンで実施し、注目を集めた(地元メディアの取材有り)。



ブラジル通信大臣の日本パビリオン訪問の模様



フィニ会長等との意見交換を実施

2. フィニSET会長、オリンピック元会長等とのバイ会談(8月8日、サンパウロ)

✓ 野村次長から今後の日ブラジルさらにはISDB-T採用国との地デジ協力をSETと連携して進めたい旨言及。また、ブラジルのASOの状況やTV3.0作業グループの検討状況について質問。ASOに関しては、2023年末のASOに向けて、ASOが予定通り進んでいる市とそうでない市があり、進んでない市に対する政府の支援が重要になっているとの説明があった。また、TV3.0作業グループが新政権発足後に立ち上げられ、7月から月一回程度会議を行っており、フィニ会長は個人及びSETの代表として参加しているとの説明があった。

3. ウェリッシュ ブラジル通信省電子ソーシャル・コミュニケーション局長等とのバイ会談(8月8日、サンパウロ)

✓ 野村次長から、他のISDB-T採用国への地デジ化の支援を連携して進めたい、また、地デジ高度化技術の推進についてもブラジルと共に進めたい旨言及。併せて、ISDB-T国際フォーラムの再開の予定やTV3.0作業グループ(同局長がグループ長)の検討状況について質問。

✓ ウェリッシュ局長からは、「他のISDB-T採用国の地デジ化支援については、日本と共に進めたい、また、地デジ高度化技術については物理層の技術について現在評価を行っており、日本の提案技術も候補技術の一つであることから引き続き評価に協力してほしい」と発言。また、「ISDB-T国際フォーラムについては、TV3.0の方式決定の後に実施したい」との発言があった。さらに、「TV3.0の作業グループについては、作業グループの下に技術、規制、導入に係る3つのサブグループを設け、法的枠組みや、ファイナンス支援、競争政策について議論を行なっている」との説明があった。その他、「TV3.0の技術規格については、来年9月までに公式に決定する予定であるが、来年8月のSETEXPOでTV3.0のデモンストレーションを実施したいため、来年7月には決定したい」との発言もあった。

4. バイゴーヒANATEL長官等との会談(8月9日、ブラジリア)

✓ 野村次長から、TV3.0作業グループにおけるANATELの役割について質問したところ、TV3.0の作業グループについては、「ANATELは周波数管理、技術的なアドバイス等の観点から参加している」との説明があった。